

会 議 要 旨 書

会議名	令和4年度第1回三鷹市生涯学習センター利用者懇談会
日 時	令和4年10月18日（火）午後6時～7時30分
場 所	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階 生涯学習センターホール
出席委員 （9人）	進邦徹夫、今田和生、尾本政二、富木由美、林卓冶、福島修子、山本昌弘、岩崎好高、小暮裕子（敬称略）
欠席委員 （4人）	長田美香子、浜中睦美、荒木健治、八木下充子
行政職員 （4人）	スポーツと文化部長大朝摂子、 スポーツと文化部調整担当部長兼生涯学習課長高松真也、 生涯学習課主査三内紀子、同課主任中西崇郎
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人

1 委嘱式

スポーツと文化部長より、新委員へ委嘱状の交付を行った。あわせて、委員の自己紹介を行った。

2 スポーツと文化部長挨拶

今年度末に市長への意見書をご提出いただく予定なので、よろしくお願ひしたい。

3 開会

（事務局より、傍聴者の有無、会議要旨の公開について報告し、配付資料の確認を行った。）

4 議題

【座長】昨年度議論した内容は、資料2にまとめてある。本日の懇談会では、追加のご意見や表現の修正等についてご議論いただく。そして、令和5年2月頃に第2回懇談会を開催し、意見書を確定する。その後、3月頃に市長に直接、意見書を提出することになる。

意見交換に入る前に、前回の懇談会で委員の方からいただいたご意見等について、三鷹市スポーツと文化財団よりご回答をお願ひしたい。

【A委員】まず、和室に椅子を4脚追加してほしいというご意見については、令和5年度の予算に計上する予定である。

2点目、むらさき学苑の講座に、単発で参加できるようにしてほしいというご意見については、会場であるホールの定員いっぱいの受講生がいるため、むらさき学苑の受講生以外の方の参加は難しい状況である。東西多世代交流センターでも、同様のむらさき学苑を実施しているため、三鷹市とも調整しながら検討していく。

3点目、子どもや働き世代の人が、興味を持てるような内容の講座を実施してほしいというご意見については、令和4年度に子ども向けの「チャレンジ陶芸講座」、三鷹市芸術文化協会との連携事業「夏を書くこども書道」、「言葉で遊ぶ子ども俳句」、日本無線(株)協力による「ラジオ工作教室」、(株)SUBARU協力による「スバルものづくり教室」などを実施した。また、

土曜日、日曜日、祝日を中心に、働き世代を対象とした「三鷹の古文書を読む」や、三鷹市美術ギャラリーに関連した講座、趣味・教養講座を実施した。今後も、様々な企画を考えているので、ぜひご参加いただきたい。

4点目、市民講師養成コースに関するご意見については、講師デビューした市民が西多世代交流センターなどの教養講座で講師を務めるケースもある。市民講師養成コースの受講者に対して、人財バンク「まちの先生」への登録案内をするなど、その後の活動につながるよう努めていく。

5点目、生涯学習センターのホームページに関するご意見については、トップページの画面表示の変更を行った。今後もわかりやすいホームページ作成に努めていく。

【座長】今の報告も含めて、何かご意見等はあるか。

【B委員】学習室3の出入口の扉増設工事の実施をお願いしたい。

【スポーツと文化部調整担当部長】学習室3の扉増設工事については、現在、内容を調整中であり、今年度中に実施する。

【C委員】市民講師養成コースを受講しても、その後の活動につながっていないとのことだが、その後の活動にいつからつなげていくのかは、個々の事情があると思う。私の知り合いは、20年ほど前に市民講師養成コースを受講して、なかなか活動につなげることができていなかったが、昨年からはスポーツ関連の地域活動を始めている。すぐに活動につなげられるのが理想的だが、ぜひ長い目で見ていただければと思う。

【D委員】市民大学総合コースについて、6月に開催された海洋プラについての講座に参加した。市民大学総合コースは、通常は年間を通した受講生しか参加できないが、こちらの講座には参加することができて、とても楽しい内容であった。市民大学総合コースの内容に興味はあるが、1年間通して参加しなければならないのはハードルが高い。半年での参加ができれば申し込みたいと思う。

【A委員】「マイクロプラスチック海洋汚染問題」の講義については、講師を引き受けるにあたって、講師から「受講生に限らず、若い人などできるだけ多くの方に聞いてもらいたい。」との強い要望があった。また、会場を学習室からホールに変更し、定員を増やすことができたため、市民大学総合コースを周知するという目的のもと、市民大学総合コースのオープン講座として実施した。市民大学総合コースの企画については、三鷹市とも調整が必要であるが、まずは今いただいたご意見を企画委員会に伝えたいと思う。

【スポーツと文化部長】会場を変更するなどの工夫をすることで、参加しやすい講座になるよう、企画委員会のみなさんと相談していけたらと思う。

【B委員】これまでに、市民大学総合コースの経済コースと政治コースが一緒になり、講義をオープンにして一般市民の参加を広報みたくで募集して実施したこともある。

私は井の頭方面から通っている。雨の日はバスを利用するが、時間帯によっては渋滞などで時間がかかる。シティバスが、もう少し早い時間帯に元気創造プラザに着くと利用しやすい。

【事務局】本日欠席の委員から事前に、生涯学習センターへの交通手段についてご意見を頂戴しているので、代理でご報告する。シティバスの実証実験により、これまで元気創造プラザまで来ていたバスが、杏林大学病院までしか行かなくなる。そのため、三鷹台方面からの利用者

は、とても不便を感じる。利用者の利便性を鑑み、杏林大学病院までではなく、元気創造プラザまで運行していただきたい。

【スポーツと文化部長】 これまでも、シティバスの本数を増やしてほしい、ルートを工夫してほしいというご意見をいただいている。今回の実証実験の結果とあわせて、元気創造プラザまで延伸した場合などについても、あわせて検討するよう担当部署に要望をしていきたい。

【座長】 以前は駐輪場についてもご意見があったように記憶している。

【スポーツと文化部長】 駐輪場については改修を行ったので、最近はあまりご意見をいただくことはない。しかし、駐輪場のスペースが少ないというご意見はあるかと思う。

【B委員】 駐輪場について、場所によっては乱雑に置かれており、スペースが足りないのではないかと感じている。1階駐輪場の出入りの時に、ミラーはついているが注意しないと夜間などは衝突しそうになることがある。

【B委員】 元気創造プラザへ来る場合、バス停はどこが一番近いのか。

【スポーツと文化部長】 東側から来る場合は、農協前のバス停が近い。西側から来る場合は、市役所前のバス停が近い。今後は、そのような案内もしていければと思う。

【E委員】 社会教育会館から元気創造プラザに移転したことで、車で来ることができるようになり、とてもありがたい。

【B委員】 会合をした後に、委員同士で少し話をする場所として、喫茶店や食堂があるとよい。

【スポーツと文化部長】 公会堂の中にレストランがあったが、コロナ禍のため営業を中止してしまった。今後、そのスペースに職員食堂ができる予定であり、一般の方もご利用いただける。

また、元気創造プラザ1階の休憩スペースの近辺を、もう少し充実させてほしいというご意見もいただいている。現在のワクチン接種会場が終了したら、打ち合わせができるスペースなどにできればと考えている。

【F委員】 生涯学習センターにおいて、夕方や夜間の利用が少ないのが課題であると感じている。利用が増えるようなアドバイスなどあれば伺いたい。

【E委員】 使用区分が午前9時から正午までとなっており、使いづらい。午前9時から午後0時30分もしくは午後1時までの区分にするなど、工夫していただきたい。

【B委員】 英会話のグループで活動しているが、コロナ禍で高齢者は参加しにくくなったため、Zoomで開催した。Zoomなら、時差がある外国に住んでいる方もやりやすい。社会教育会館では、夜間の利用状況はどうだったのか。

【スポーツと文化部長】 社会教育会館と生涯学習センターでは、使用区分が違っているので、比較は難しいが、立地の違いは大きいと思う。社会教育会館の周りには住宅がたくさんあったが、生涯学習センターの周りには住宅がない。また、駅前の施設では夕方や夜間の時間帯も混んでいたりする。

【G委員】 どの世代がどの時間帯に利用しているのか、データはあるのか。夜間に利用するターゲットを明らかにすることで、どのような講座を開催すればよいのかがわかるのではないかな。

【F委員】 手元にデータはないが、夏休みに学習室を開放して子どもが勉強できるスペースを提供している。もう少し長く利用できないかというご意見もあり、来年度は時間を延ばして提

供できるようにしたい。先ほどご意見のあった英会話なども、講座として検討したい。そして、どのような講座にニーズがあるのかを検証していきたい。

【B委員】コミュニティ・センターでは、楽器の演奏ができる部屋があるが、団体でないと利用できない。生涯学習センターでも、合唱や楽器の演奏ができれば、若い世代のニーズがあるのではないかと。

【A委員】楽器やブラスバンドに関する問い合わせは多い。少人数での利用は可能であるが、施設が防音ではないため、ブラスバンドなどの活動は、現状ではなかなか難しい。そのような場合には、芸術文化センターをご案内している。

【B委員】駅前コミュニティ・センターの地下に視聴覚室があり、そこは団体の予約がなければ、個人でも利用できる。生涯学習センターも、団体の予約がない場合は個人でも利用できるようにしてはどうか。

【スポーツと文化部長】これまでも、個人で利用できないかというご質問はある。現在の条例では個人での利用はできないが、団体利用が少ない時間帯もわかってきたので、今後は個人での利用も考えていければと思う。

【C委員】三鷹市には、放課後の子どもの居場所が少ない。若い世代の方が夜間に活動することが多いと思うので、前向きに考えていただきたい。

【座長】利用日の一週間前になったら、使用料を安くするというのも良いかと思う。

【F委員】現在は、利用日当日でも団体で予約が可能であるが、例えば3日前からは予約できないようにして、空いている施設は個人に貸し出すなど、今後検討していけたらと思う。

【G委員】今のままでは、夕方や夜間の利用について、劇的に増えるとは思えない。働き世代の方が、忙しい中で夕方や夜間に生涯学習センターを利用するためには、働き世代同士のコミュニティなどが必要であり、市として受け身ではなく、利用してもらえそうな仕掛けをしていくことが大切である。

【スポーツと文化部長】元気創造プラザが開館して6年目になり、利用のパターンも定着してきて、団体利用が少ない時間帯もわかってきた。その時間帯について、どのようにしたら団体が使いやすくなるのか、もしくは、利用したことがない市民にどのようにしたら利用してもらえのかを考えないといけない。

【座長】元気創造プラザ1階にある意見箱に、生涯学習センターに関する内容のご意見はあるか。

【A委員】個人利用の枠を設けてほしいということや、中高生の勉強スペースとして開放してほしいというご意見があった。現在、日曜日に学習室5～7を開放しているが、団体の予約が入ると開放できない状況である。

【F委員】その他に、講座の内容に関するご意見もいただいている。

【座長】夕方や夜間の利用は難しいところがある。学生は比較的、夕方や夜間に時間があると思うので、学生を対象に施設を使ってもらえるのは良いと思う。

【G委員】三鷹駅前のコーヒー店には、パソコンを使って仕事をしている人や、勉強をしている学生がたくさんいる。そういった人たちを取り込んでいけたらよいのではないかと。

【スポーツと文化部長】これまでも個人利用について検討していたが、コロナ禍となり止まっ

てしまった。来年度以降、引き続き検討していきたい。

【座長】三鷹中央防災公園・元気創造プラザの総点検などで、何か反映されたことはあるか。

【スポーツと文化部調整担当部長】利用時間の前後一時間について、当日空いていれば延長等して利用できるようにした。また、施設使用料等の支払いについて、キャッシュレス決済を導入できるように進めている。

【スポーツと文化部】総点検においても、個人利用についてのご意見があったので、今後、検討していきたい。

【座長】元気創造プラザ全体の連携については、どのようになっているか。

【スポーツと文化部調整担当部長】三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、多機能な複合施設である。今後は、複合施設から融合施設を目指していくこととしている。そこで、今年度の生涯学習センターフェスティバルに併せて、初日の12月3日（土）に、各フロアの機能や業務について紹介する「まるごとウェルカムデー（仮称）」、館内の見学ツアーを含む「ウォークショップ」を開催予定である。

【C委員】最近、生涯学習センターで活動しているサークルの作品を4階に展示していただいている。4階に来れば、展示を行っていることに気が付くが、他の階の利用者は気が付かないと思う。1階や地下階にも、展示の案内をすることで、生涯学習センターの活動を知ってもらうことができると思う。また、階段に段数を書くなどして、上り下りしたくなるような仕掛けをしてみたらどうか。

【A委員】展示については、ツイッターなどで周知をしている。実際に作品を見て、サークルに入りたいという人が増えている。また、スポーツと文化財団で主催している講座についても、いくつか展示をして周知を図っている。

【B委員】屋上でゴルフができるが、そういったことも知らない人が多いと思う。

5 その他

次回の懇談会は、令和5年2月頃に開催予定

-午後7時30分閉会-